



国際交流のひろば

留学生オリエンテーション

4月12日(金)12時から人104において、4月入学の留学生を対象としたオリエンテーションを実施しました。

最初に林国際交流推進センター長の挨拶があり、「4つの留学生支援方針」「留学生履修プログラム」「修学・生活上の諸手続き」「宿舎入居の注意」「研究不正について」など押木留学生支援専門部会長や担当課職員から説明がありました。

新入生10名は熱心に耳を傾けていました。



外国につながる子供たちへの修学支援事業説明会



上越地域在住の外国人につながる児童生徒を対象に、地域の教育委員会と(公社)上越国際交流協会と連携して、修学支援事業を実施しており、毎週月曜・火曜の放課後、本学学生と留学生が学習支援を行っています。

今年度は、4月11日(木)、15日(月)12時から、平成30年度報告と平成31年度活動説明、メンバー登録会を行いました。

今年度支援する児童生徒は19名で、本学学生登録者数は39名です。(4月現在)

メンバー登録は年間を通して随時行っています。



平成30年度海外フィールド・スタディ報告会



海外フィールド・スタディは大学院の授業科目として行っているもので、平成30年度は現地研修として2月16日～3月18日の1か月間、オーストラリアのウェストミンスタースクールで授業参観や授業実践を行い、ホームステイを体験し、シドニーで文化研修をしました。

4月18日(木)12時10分から人101において、学生2名による報告会を行いました。田中良篤さん(M2、グローバル)は「新たな視点から日本の教育を捉えることができました。この経験を契機として、海外の様々な国で教える働き方をしていきたいと考えました。」と感想を話していました。



大沼賢治さん(M2、グローバル)の報告

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

国際交流のひろば

学長と4月入学留学生との懇談会

5月27日(月)12時から第2食堂において懇談会を実施し、学長、理事、国際交流推進センター長、留学生支援専門部会長、留学生指導教員と留学生の計18名が出席しました。留学生の自己紹介に続き、学長からの歓迎と励ましの言葉があり、昼食をとりながら、上越での留學生活の様子や出身国の話、本学での勉強の感想など和やかに懇談が行われました。



よろしくお祈いします！

4月に入学した留学生は中国8名、台湾1名、モンゴル1名の10名です。これにより、本学で学ぶ留学生の数は博士課程を含めると33名となりました。

エンヘバトさんに自己紹介をお願いしました。

教員研修留学生 エンヘトウル・エンヘバト (モンゴル)

初めまして。私はモンゴルから来ました。踊ったり、うたったりするのがあまり好きではありません。でも映画を見るのが大好きです。色々な国の色々な映画を沢山見ます。しかしスポーツが下手ですからスポーツについてのものは全然面白くないと思います。今年の11月、私は29歳になります。沢山のことを考えていますが、今は始まる時間を待っています。去年の9月に日本に来てから、色々な人に会いました。日本人は本当に親切で優しいですね。ですから、将来についてよく考えなければなりません。1年間どうぞよろしくお祈いします。

語学教室が始まりました

5月29日(水)12時から図書館情報交流ゾーンにおいて、中国語教室が始まりました。

中国出身の留学生が講師となり、学生、教職員11名が参加し、学校で児童生徒を迎えた時にも使える簡単な表現や発音などを学んでいます。

参加目的は「勤務していた学校に中国や台湾籍の生徒が増えてきたのでコミュニケーションを図りたい」「昨年参加して楽しかったから」「中国語に興味があるから」「話せるようになりたい」など様々です。

この語学教室は全7回行う予定です。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



国際交流のひろば



台湾・国立嘉義大学から短期留学生の受入れ

台湾の国立嘉義大学の学部2年生、3年生の5名が短期留学生として来訪しました。受入期間は、学生は6月21日（金）～7月24日（水）、引率者は6月28日（金）～7月20日（土）です。

この期間は、本学の授業の見学、附属小中学校の参観、市内見学等を実施する予定です。

陳奕安さんから自己紹介をいただきました。
（写真左から2番目）

こんにちは。私は陳です。嘉義大学の2年生です。私の一番得意な科目は英語です。日本語も大好きです。私が持っている資格はTOEICレベルAと日本語能力試験N3です。私の趣味は音楽を聴くことと映画を見ることです。運動も大事ですから、毎日5キロ走ります。



留学生等の交通安全教室



6月28日（金）12時から人101において実施し、留学生、チューター等が出席しました。

今年度第1回目の交通安全教室では、自転車の交通ルールや道路での乗り方などについて学びました。

押木留学生支援専門部会長から実際に起こった事故の様子や気を付けるべき点などについてお話があり、留学生は真剣な様子で聞いていました。

10月には上越警察署員をお招きし、秋の交通安全教室を実施する予定です。

お知らせ

本学協定校の韓国教員大学校から訪問団が来訪します。

来訪日程：7月2日（火）～7月5日（金）

来訪者：学生9名、引率者1名

活動内容：本学での授業見学、学生交流、文化体験、附属中学校での授業実践
上越地域見学 等



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666（研究連携課 国際交流チーム）



国際交流のひろば

2019年度韓国教員大学校短期留学プログラム(受入れ)

7月2日(火)～7月5日(金)、本学交流協定校の韓国教員大学校から学生9名と引率者1名を受け入れました。このプログラムは、学生の国際理解・異文化理解の深化を図り、韓国教員大学校との交流推進を目的に実施しており、受入れと派遣を1年ごとに行う相互交流です。滞在中は、本学での授業見学や日本文化体験、学生交流、附属中学校での授業実践、市内見学等を行いました。(写真:閉講式)



★ 奨学金説明会

7月3日(水)12時から人104において、私費外国人留学生を対象とした各種奨学金説明会を行いました。

学業・人物ともに優秀であり、経済的援助を必要とする留学生に対し、修学を支援することを目的とした「ロータリー米山記念奨学金」「平和中島財団奨学金」「JEES日本語教育普及奨学金(日能)」等の募集や詳細について近藤留学生支援専門部会委員から、応募方法について国際交流チーム主査から説明しました。

★ 七夕茶会

7月8日(月)19時から大学会館第2集会室において本学茶道クラブの七夕茶会に留学生が招待されました。

参加した胡熙さん(中国)は「お茶は少し苦くて、お菓子は甘くておいしかったです。茶道の作法やマナーは素晴らしいと思います。皆さんが一生懸命準備してくれて、本当にありがとうございました。」と感想を話しました。



★ 夏休みの宿題教室

7月29日(月)16時20分から本学において、夏休みの宿題教室を開催しました。この宿題教室は、上越地域在住の外国につながる子どもたちを対象に学習支援を行うものです。外国人留学生及び日本人学生が支援者として参加し、児童生徒18名が持参した夏休みの宿題の中で、一人では取り組むことが難しい部分を中心にサポートしました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

国際交流のひろば

留学生の日本文化・歴史体験及び地域交流に関する研修

8月9日（金）上越市安塚区等において研修を行い、雪のまちみらい館、和田の雪室、ふれあい昆虫館、雪だるま物産館、前島密記念館、岩の原葡萄園を見学しました。

この研修は、留学生に日本文化・歴史体験及び地域との交流、また日本人学生との交流の機会を提供することを目的に毎年行っています。張鈺さんに感想文を寄せてもらいました。



暑いけど、楽しかった



石蔵の中は涼しいね！

大学院2年 張鈺（中国）

この研修でたくさんの場所を見学した。まず、雪のまちみらい館に行って、その解説員に雪室の仕組みを説明してもらった。そして雪室を見学して、雪室は天然の冷蔵庫であり、たくさんの食品を貯蔵することができることがわかった。夏の今、冬に降った雪を見て不思議に思った。このような資源のリサイクルは本当に環境にやさしい。昼食は留学生と先生方と話をしながらそばを食べた。午後、前島密記念館を訪れ、日本近代郵便の父である前島密の生涯の業績を知った。最後に、岩の原葡萄園に行って、そのスタッフさんが葡萄園とワインの石蔵を案内してくれた。

今回の活動によって、見聞を広めただけでなく、留学生間の友情も深めた。暑い天気でしたが、一日はとても楽しかった。このような機会に感謝します。

短期外国人留学生成果発表会

8月27日（火）13時から人113において、平成30年10月～令和元年9月までの期間、本学協定校から交換留学生として学んでいる6名及び日本語・日本文化研修留学生1名が、1年間の日本での留学生活と本学での学習成果について発表しました。発表後、国立嘉義大学からの留学生、謝承志さん(台湾)は「この1年間はいろいろな辛いことも楽しいこともありましたが、最後に皆と一緒に発表できて良かった。上教大の先生や先輩に感謝しています。」と感想を話しました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666（研究連携課 国際交流チーム）



国際交流のひろば

短期留学生修了証書授与式

9月6日（金）15時から学長室にて短期外国人留学生修了証書授与式を執り行いました。

昨年10月から特別聴講学生として留学した中国協定校からの4名、台湾協定校からの2名、日本語・日本文化研修留学生1名に修了証書が授与されました。



日本語・日本文化研修留学生 李曉雪（中国）

光陰矢のごとし、あっというまに一年がすぎてしまった。上越の独特な四季を体感した。特に冬は本当に名残惜しいと思った。雪がふわふわと舞い散る姿は今も目の前にあるようだ。本当に綺麗だった。雪の厚さは車をほぼ埋めるが、スキーができる。雪国で初めてのスキー体験をした。ケーブルカーに乗って、絵に描いたような雪山を眺めた。私は雪化粧をした大地と蒼く澄んだ空の間でケーブルカーに揺られながら美しい景色を享受した。スキー初日は何度も転んで、ようやく滑れるようになった。高いところから滑ると、飛んでいるような感じがして、ワクワクした。上越の冬が大好きだ！また、着物や桜、花火など様々な日本文化を体感し、金沢や京都、大阪、奈良など旅行に行った。最高だった。もちろん日本語のレベルは日本に来るまえより高くなると感じた。しかし、まだ頑張りたいと思う。この一年間はドラマみたいというか、物語みたいというか、とにかく喜怒哀楽があるからこそ、人生で一番大切な思い出だと思っている。多くの出会えた人にも心から感謝している。これから上越教育大学の大学院を目指して、頑張っていきたいと決心した。上越、また！

ウェストミンスター・スクール訪問団の受入れ

9月25日（水）～28日（土）、本学協定校であるオーストラリアのウェストミンスター・スクールから児童生徒と引率者29名が附属小学校及び本学を来訪しました。

同スクールとは、2年に1度の相互交流を行っています。今回の主な活動は次のとおりです。

- 9/25（水）上越に到着
- 9/26（木）附属小学校で交流プログラム
買い物
引率者との交流会
- 9/27（金）歓迎式
本学学生との日本文化体験
上越市内見学（春日山、平和記念公園）
- 9/28（土）高田公園見学
上越を出発

附属小学校での交流



平和記念公園を見学



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666（研究連携課 国際交流チーム）

国際交流のひろば

新入生オリエンテーション

10月10日(木)12時から人104において、10月入学の留学生を対象にしたオリエンテーションを実施しました。「4つの留学生支援方針」「履修プログラム」「チューター制度」「修学・生活上の諸手続き」「宿舍入居の注意」「論文・レポート作成時の注意」等について押木留学生支援専門部会長、担当課職員から説明がありました。



よろしくお願ひします！

10月に入学した留学生は中国7名、台湾2名、トルコ1名、ブラジル1名の11名です。これにより、本学で学ぶ留学生の数は、博士課程を含めると37名となりました。スイメライさんに自己紹介をお願いします

日本語・日本文化研修留学生 トルナイ・ネスィベ・スイメライ(トルコ)

皆さんはじめまして!私はチャナッカレ・オンセキズ・マルト大学の4年生で、日本語教育を勉強しています。出身はトルコのエディルネという街です。オスマン帝国の昔の首都だったため、歴史的なところがたくさんあります。私はファッションやメイク、アニメなどに興味があります。また日本の音楽がとても好きです。だいたい歌手やロックの方を聞いています。日本にいるうちに是非ライブにも行ってみたいと思います!同じ興味を持っている人、あるいは他の国の文化に興味がある人と話すのが好きですから、お互い交流できて、友達になれると嬉しいと思います!この一年間ただ日本語の能力を上達するだけではなく、日本語を通じて人間としてのコミュニケーションでも良くなりたと思います!よろしくお願ひします!

留学生等交通安全教室

10月23日(水)16時から大会議室において、交通安全教室を実施し、留学生、日本人学生、教職員等32名が出席しました。

近藤留学生支援専門部会委員の進行で、上越警察署交通課職員による自転車を中心とした交通安全指導や法律やルールをよく守って良い留学生を送ることなどについてのお話がありました。

参加者は真剣に耳を傾けていました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



国際交流のひろば

上越国際交流協会との連携連絡会

11月14日(木)10時30分から中会議室において、本学と上越国際交流協会との連携連絡会を開催し、今年度の事業実施状況について報告し、また連携事業等について意見交換を行いました。

この連携連絡会はこれまで培ってきた連携・協力の実績を基盤に、より一層の連携協力を図るため2010年に設置されたものです。

上越国際交流協会からは清水理事長、河西副理事長、佐藤事務局長の3名、本学からは学長、梅野理事、林国際交流推進センター長、周東協定校交流推進専門部会長が出席しました。



留学生が語る／留学生と語る会



12月4日(水)18時から人113において、留学生が語る・留学生と語る会を開催し、市民、学生、教職員など39名が参加しました。

今回は『私が上越(ここ)で学ぶ理由 -上越での暮らしの様子と母国の紹介を含めて-』をテーマに、マレーシア、中国、モンゴルからの留学生が語り、参加者と留学生の意見交流が行われました。

参加者からは「留学生から直接お話を聞く機会は貴重でした」「留学生の一生懸命さに感動しました」「参加していた留学生の皆さんの意見が参考になりました」などの感想がありました。



外国人留学生との意見交換会



12月11日(水)16時30分から人113において、外国人留学生との意見交換会を実施し、留学生、チューター、教職員など40名が出席しました。留学生支援専門部会の近藤部会委員が司会進行し、林国際交流推進センター長の挨拶に続き、小グループごとに意見交換を行いました。

留学生からは「上教大は親切だ」「授業は難しく、緊張する」「もっと日本人学生と交流したい」「上越の交通は不便だ」などの意見がありました。

この会で得た意見は、今後の留学生支援につながっていきます。



学長と10月入学留学生との懇談会



12月19日(木)12時から第二食堂において、10月入学の留学生を対象とした学長との懇談会を実施しました。

学長、理事、留学生指導教員、国際交流推進センター委員と留学生が出席しました。押木留学生支援専門部会長の進行で、留学生の自己紹介、学長からの歓迎と励ましの言葉があり、昼食をとりながら日本での留学生活の様子や出身国の話、本学での勉強の感想など和やかに懇談が行われました。

劉玥さんに留学の感想文を寄せてもらいました。



研究生 劉玥(中国)

こんにちは。今年の10月に中国の安徽省馬鞍山市から来ました。初めて日本に来て、この2か月間、やさしい日本人と友達になって、役に立つ授業を受けて、本場の日本料理をいろいろ食べて、本当に楽しかったです。特に指導教員の田島先生は私の日本語を正しく直して下さり、普段の生活も心配して下さり、不安がだんだんなくなりました。先生方や親切な人々に、何とお礼を申し上げればよいかと思えます。

来年4月に大学院生になりたいので、現在、後期試験のために毎日一生懸命に勉強しています。将来は日本で勉強した知識を活用して、日本語の教師になりたいです。

日本はとてもきれいな国だと知っているのですが、旅行に行きたい所もたくさんあります。東京の富士山に登りたい、京都に紅葉を見に行きたい、大阪にお好み焼きを食べに行きたい、沖縄に島唄を聞きに行きたいです。機会があれば、日本の各地の美しさを実感したいと思っています。

外国につながる子どもたちへの修学支援事業 「冬休みの宿題教室」



12月23日(月)、26日(木)、「冬休みの宿題教室」を実施しました。これは上越地域在住の外国にルーツをもつ児童生徒を対象に冬休みの宿題の学習支援をするもので、留学生及び日本人学生26名が支援者として参加しました。子どもたち21名が持参した冬休みの宿題の中で、一人では取り組むことが難しい部分を中心に学習支援を行いました。また休憩時間は他のテーブルの子ども同士でゲームや腕相撲をするなど交流を深めました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

国際交流のひろば

「海外との研究交流事業」の取り組み紹介

本学の国際戦略及び国際交流に係る基本方針に基づき、海外の大学等との研究交流を推進するため、「海外との研究交流事業」を行っています。今年度は1件の事業が採択されました。

ドイツの音楽科の教員養成における演奏技能の向上と指導方法（教授法）、日本の音楽教育における伝統音楽の特徴と楽器について、ドイツで研究交流を行った音楽コースの尾崎祐司准教授の報告です。

2019年11月5日から14日の期間、ドイツのフランクフルト（ヘッセン州）とコトブス（ブランデンブルク州）を訪問してきました。フランクフルトでは、地元のフランクフルト放送交響楽団が小学校の演奏訪問を行っていた時期で、郊外にあるバード・ヘルスフェルトという町の学校での演奏会の様子を参観しました。コトブスではブランデンブルク工科大学（BTU）のシュレーダー教授（声楽）を訪問し、本学との交流協定締結に向けた交渉と音楽の教員養成を行っている授業の様子を参観しました。また、日本音楽の特徴について小中学校で扱われている教科書教材をもとに講演を行いました。

コトブスはポーランドとの国境近くにある人口10万人程度の都市ですが、日本語を選択科目に採用している中等教育学校（ギムナジウム）があることもあり、日本の文化に興味・関心のある大学生もいました。本学にとってもグローバルな人材を育てられる教員の養成につながれば、と強く思いました。



日本の音楽の特徴について講演を行いました



日本の文化に興味のある学生に鼓の打ち方を指導しました

コトブスにある中等教育学校



令和元年度留学生成果発表会

2月18日(火) 13時30分から人113において、令和元年度留学生成果発表会を開催しました。

発表者は3月修了予定のエンヘトゥル・エンヘバトさん(モンゴル、学習臨床・授業研究、教員研修留学生)と邱子庭さん(台湾、国語、M2)です。

2名の留学生は、それぞれ日本での留学生活の感想や本学での研究成果の発表と修士論文を書くことについて後輩へのアドバイスについて話しました。



令和元年度留学生スキーのつどい

2月20日(木) 21日(金) 上越市安塚区のキューピットバレイスキー場において、留学生スキーのつどいを実施しました。スキー発祥の地である上越の地域性を生かし、留学生がスキーを体験するとともに、スキー実習を通して、留学生相互及び学生、教職員との親睦を図ることを目的として実施しています。初めてスキーを体験した周楓さん(中国)から感想文を寄せてもらいました。

大学院1年 周楓(中国)

今回、スキーのつどいで、キューピットバレイスキー場に行って、初めてスキーをした。私の出身は中国の南方ですから、冬になっても、雪を見る機会が少ないです。

1日目、着いた後すぐに外に集合し開講式が行われた。初心者グループとして、馬さんと一緒になった。初めて履くブーツは雪の上を歩くのが大変だった。そしてスキー板の履き方を教わり、片足だけで滑る練習や両足に板をつけて坂を登ったり、滑って止まる練習をした。板を持って斜面を登り、その途中でスキー板を履いて練習や転ぶ練習をした。午後は初めてリフトに乗った。乗り降りができるか不安だったが意外とすんなりできた。そして斜面を滑った。しっかりと止まったり、曲るのが難しく何度か転んでしまった。

2日目、午前中には3人乗りのリフトに乗って、それまでより高い場所から滑った。リフトを降りた所から下を見ると急だったので、滑ることができない。昨日と同じように何度か転んでしまった。午後になったら、馬さんは膝が痛いので休んだ。私と先生と一緒にリフトに乗って滑った。一番最後はそれまでよりも急な斜面を滑った。やっとできた！すごく楽しかった！そして閉講式が行われ、スキーのつどいは終わった。

また来年も楽しみにしています。



リフトに乗って山の上まで行くことができました。
インストラクターに続いて滑っていきます。



天気も雪も最高のコンディションでした

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



国際交流のひろば

令和元年度教員研修留学生修了証書授与式



3月13日(金)15時から、昨年4月から教員研修留学生として留学したエンヘトゥル・エンヘバトさん(モンゴル)に修了証書が授与されました。

エンヘバトさんさんから、本学での1年間の留學生活の感想文を寄せてもらいました。

教員研修留学生 エンヘトゥル・エンヘバト(モンゴル)

こんにちは。2018年の秋に日本に来ました。初めての半年は新潟大学で日本語を勉強しました。そのあと、去年の3月末に上越教育大学にきました。上越市は静かな町です。どこへ行くにも自転車や車がないと難しいです。普通より違うと思ったものは親切な人たちでした。朝早く散歩をする時、知らない人も挨拶します。私はスポーツや歌ったり、踊ったりすることは、あまり好きではないので、誰かと友達をなるとは少なかったです。私が日本で学ぶ目的はいろいろでした。例えば、どうして、どうやって、日本人が世界で一番有名で良い人になったんでしょうか。それは60年前の日本人から始まり、今も続いていると思います。最後に、1年間いろいろ教えて、手伝ってくれた皆さん、本当にありがとうございました。モンゴルへ戻ったら、日本で学んでことを考えながら働きます。



修了留学生への記念品贈呈式

3月13日(金)15時15分から、3月に修了する大学院の留学生に対し、学長から記念品が贈呈されました。王娟さん(中国)から、本学での留學生活の感想文を寄せてもらいました。

大学院2年 王娟(中国)

私は大学から日本語を勉強し始め、その時からずっと日本と日本の文化に憧れていました。日本語を専攻した私は、日本語がもっと上手になりたいので、大学を卒業してから一年半後に留学することを考えました。留学するために、様々な困難があったが、恩師や家族、友達の力のおかげで無事に日本に来ることができました。上越に留学出来てとても幸せでした。一人での初めての日本は、心配なことばかりでしたが、皆さんのおかげで、短い時間で新しい環境になじむことができました。授業で新しい知識を勉強し、学業は順調に進みました。

あっという間に、3年の歳月が流れました。ここで出会った人々、そういう人たちから受けた温かい心遣い、上越での思い出を大切に思います。「物」としては残らなくても、私の頭や心に、感謝の気持ちとともにつまっています。私の人生のかけがえのない経験でした。上教大、本当にありがとうございました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)